

講評

第17回公共建築賞 関東地区審査委員会 委員長

東海大学工学部建築学科教授
山崎 俊裕



公共建築賞・
優秀賞
生活施設部門
(関東地区)

東京駅八重洲口開発グランルーフ・ 東京駅八重洲口駅前広場

「直線には神は宿らない」——フンデルトヴァッサーの言葉を引用するまでもなく、自然界に存在するのはたおやかな曲線のみである。多くの人々が行き交い緊張感に満ちた「駅」という場を、自然と調和しつつ人々を迎え入れる包容力のある場へと醸成させたのは、グランルーフ（大屋根）の存在だ。

グランルーフを正面に、高層棟を南北に配置することで、八重洲通りから丸の内側の行幸通りに視線を抜き新たな都市軸を形成した企画力。そして、膜屋根を構造体で下張りすることにより、優しい光をたずさえた「光の帆」となるルーフを生み出した設計力。それぞれ異なる曲線の大梁を忠実に施工し、250m近い膜屋根を1枚の布として見せるための精度管理や施工方法の工夫。いず

れも、“建築”の可能性を私たちに信じさせてくれる。

一体整備が行われた緑あふれる駅前広場やルーフ下のデッキでは多くの人々が足を止め、心地よい光と風を楽しんでいた。



© Rainer Viertlböck

公共建築賞・
優秀賞
生活施設部門
(関東地区)

佐久総合病院 佐久医療センター

地域に愛され、地域に根差した医療を続けてきた佐久総合病院の機能を、地域医療センターと基幹医療センターの機能分化による再構築計画として実現させた、全国でも例のないプロジェクトである。

広大で緑豊かな敷地特性を生かし、診療棟と病棟を分棟で配置した低層で横に広い病院建物で、特徴的な病棟は花びらのような形状とし、1階から病室を設け、患者等が庭の空気を肌で感じられる接地感の高い療養環境としている。また、佐久地域の気候特性である「冬の厳しい寒さ」「豊かな地中エネルギー」「日照時間の長さ」に着目し、再生可能エネルギー・低炭素など環境配慮手法を

積極的に取り入れている。オープンスペースや外構部分を積極的に地域社会に開放しながら豊かな療養環境を形成するとともに、総体として優しく、親しみがあり、かつ病院としては稀有な「美しい建築」が形成されている。



公共建築賞・
優秀賞

文化施設部門
(関東地区)

長野市第一庁舎・長野市芸術館

市庁舎と芸術館という機能・性格の異なる施設を一体的に複合施設として実現したモデル的な公共建築である。

精力的な市民ワークショップの成果を基に、芸術館は用途の異なる3ホールが開放感あふれる中庭を中心に立体的に構成され、庁舎は機能・セキュリティを確保しつつ、低層階オープンスペースを介して芸術館とつながっている。施設複合化の相乗作用として、真に市民主役の公共空間が具現化しているといえよう。

施工管理面でも随所に工夫がみられ、高性能・高品質なホール空間が形成されている。地域社会・文化性についても、庁舎前広場が各種イベント、にぎわい創出の場、有事の際の避難広場・救援物資拠点等に利用・想定され、芸術館に通じるエントランスホール・中庭・各種練習室等の空間機能も高い利用状況である。省エネ、耐

久性・耐用性・保全性への対応も、積極的、かつ入念な取り組みが随所にみられる公共建築である。



公共建築賞・
優秀賞

生活施設部門
(関東地区)

みなとパーク芝浦

本施設は、工場跡地に計画された多機能複合型の公共施設である。行政機能、地域コミュニティ機能、スポーツ施設などが一体的に組み込まれ、さらに将来的に駅まで続く予定のデッキで周辺建物ともつながれ、地域住民の生活利便性の向上に大きく寄与している。また、周辺建物を含めた地域冷暖房システムが構築されており、効率的なエネルギー利用、災害時のレジリエンスの獲得にも積極的に取り組んでいることも特筆される。

建築的にも、再生可能エネルギーの利活用や国産木材の内外装への採用といった環境配慮を行いながら、多岐にわたる機能の一つにまとめ上げている。また、環境制御のための外装の木製ルーバーが、前面に計画された公園とともに、安らぎを感じさせる屋外空間をつくりだしている点も評価される。

現代の公共施設に求められる、さまざまな住民サービスや防災・減災機能、地球環境や近隣への配慮などを、高いレベルで実現している建築といえる。



公共建築賞・
優秀賞

文化施設部門
(関東地区)

コスモスふきあげ館

本施設は、鴻巣市吹上支所周辺の施設機能を再編し整備されたものであり、公民館、図書館、資料館、児童館、支所機能等を複合し、多世代が利用できる新たな生涯学習活動拠点を形成することにより、住民サービスの向上と効率的、かつ利便性の高い施設運営を実現している。

平屋建ての施設は低層の周辺住宅によくなじんでおり、温かみのある木格子の大屋根とガラスのファサードにより、親しみやすく地域に対し開かれた印象を与える建物となっている。

駅前の好立地であることからアクセス性が高く、施設利用率の高い施設となっている。

今後も多くの自治体において見込まれる公共施設の機能再編という課題への取り組みにおいて、既存施設を一部活用しながら、施設に必要な機能を確保しつつ、地域

の景観になじみ、地域社会に大きく貢献する公共建築を実現したものである。



(受賞作品掲載は地区推薦順)